

もっと元気に・がんばる太宰府応援団概要

- 目的：太宰府市のまちづくりについて市民の視点から提言いただき、もって豊かで活力にあふれる太宰府市の創造に寄与する。
- 開催日：平成 21 年 3 月 18 日～平成 21 年 10 月 15 日（延べ 4 回開催）
- 委員：有岡康男、久我浩二、左鴻淳也、高橋龍矢、武末健志、中西明子、長濱英太郎、西嶋宏幸、平島省一、藤岡登、藤田百合子、前田勝男、前田ユミ子、松田佳子（敬称略、五十音順）

【主な意見】

（総合計画）

- ・総合計画については、目標を立てるだけでなく検証が必要です。

（人口）

- ・人口を増やすためには高い建物も必要だと思う。

（協働のまちづくり）

- ・まちづくり基本条例が必要です。
- ・坂本地区では伝統行事を取り上げることで盛り上がり、毎年の恒例行事になっていると聞いた、一つのまとまりができると、みんなが協力するようになる。
- ・小中学校の授業に自治会の活動を組み込んでもらっては。小さい頃から自治体を知ることによって大人になっても自治会に参加しやすくなるのでは。
- ・大学が多いという特徴がある。若者の元気を取り込める取り組みが必要です。

（防犯）

- ・自分たちが子どもの頃と随分社会が変わってきていて、危険なことが増えているので、より安全に対する対策が必要と考えている。

（福祉・教育）

- ・太宰府市は福祉と教育に厳しいと感じる。高齢者でも子どもでも住みたいというまちにしたい。
- ・スポーツを含めた教育で文化の香り高いまちづくりをしてはどうか。

(男女共同参画)

- ・総合計画にはいろんな施策があるが、全分野についても男性も女性も計画づくりに参加できればいいと思います。

(リサイクル)

- ・公園や史跡地などの樹木の剪定ゴミをチップ化し、たい肥として使っては。

(景観)

- ・今の太宰府の景観は宝です。後世に残していかないといけないと思います。

(産業)

- ・史跡地に梅を植えて、収穫して販売しては。

(文化財)

- ・太宰府にはすばらしいものがたくさんあると思うので、守るだけでなく活かしていくべきだと思う。
- ・政庁跡に来てもらって太宰府を感じて欲しい。そのためには駐車場が必要になる。

(観光)

- ・観光名所ではあるが素通り型になってしまっている。何らかの対策が必要です。
- ・観光客が多くても経済効果がない。市全体が潤うような取り組みが必要です。
- ・時間をかけて観光できるような仕組みが必要。周遊できるようなまちにしたい。
- ・観光客はサインや正確な縮尺の地図を欲しがっている。
- ・自然の豊かさ、美しさも観光のポイントの中に入れていい。
- ・市内の公共施設の回遊性を高めるため九博と天満宮宝物殿、菅公歴史館、観世音寺宝蔵、大宰府展示館などの有料施設に共通チケットを導入しまほろば号一日乗り放題を無料にしては。
- ・着地型旅行会社というのがあって太宰府まできてもらえば市内のあっちこっちに連れて行く第3種旅行業がある。地元の人を活用して旅行会社と行政が事業主体を作っては。

(情報)

- ・情報発信をまとめる場所が必要だと思います。

(行政)

- ・行政職員の教育のための施設も必要です。